

ふるさとに思いを馳せる

《2026年》
10/3

東京 しらぬかふるさと会

東京しらぬかふるさと会の総会と「ふるさとを語るつどい」が東京都内で開かれ、会員31人をはじめ、来賓や関係者など約50人が出席しました。

つどいでは、来賓として白糠町応援大使の山口ひろみさんが歌で会場に華を添えたほか、毛ガニやシヤマなど白糠の特産品が当たる抽選会がおこなわれ、盛り上がりを見せていました。



親睦と交流を深めた参加者

福祉をもっと身近に

《2026年》
10/3

地域福祉まつり

町社会福祉協議会（岸本秀彦会長）が主催する「地域福祉まつり」が保健センターで初めて開催され、会場には介護や福祉に関する相談コーナーや最新の福祉用具等の展示・体験コーナーが設けられたほか、縁日や模擬店が人気を集めていました。

岸本会長は「各団体の協力を感謝します。来年もさらに福祉の輪を広げていきたい」と話していました。



電動車いすを試乗する参加者

共に歩んだ50年

《2026年》
10/10

金婚ご夫妻慶祝の集い

町女性ボランティアクラブが主催する「第48回金婚ご夫妻慶祝の集い」が振興センターで開かれ、昭和51年に結婚して今年で50年を迎えた、廣田達郎さん・多喜子さん、井出優さん・玲子さんご夫妻の2組が出席しました。

集いではお祝いの言葉と記念品が贈られ、その後の歓談ではこれまでの歩みを振り返っていました。



前列左から井出さん夫妻、廣田さん夫妻

湯ったりお出かけ

《2026年》
10/6
～8

日帰り温泉事業

6～8日の3日間、65歳以上の方を対象とした「生き活かしらぬか日帰り温泉事業」が、実施され、163人が参加しました。

参加者はバスで弟子屈町を訪れ、屈斜路プリンスホテルでバイキング形式の昼食を楽しんだ後、大浴場での温泉や敷地内の散策など思い思いに過ごし、お出かけと交流を楽しみました。



屈斜路湖畔の散策を楽しむ参加者

社会人への第一歩

《2026年》
9/28

白糠高校 インターン報告会

白糠高校の2年生22人が8月末に白糠町や釧路市で行ったインターンシップの成果を発表する報告会が社会福祉センターで開かれました。

白糠こども園や恋問館、レストランはまなすといった各所での実務内容や、「お客様の目線に立って接客することの大切さを学んだ」という実際に働いてみて感じたことをスライドショーで発表していました。



教室の外で見つけた学びを発表する生徒

優勝目指してスイング

《2026年》
9/27

町長杯パークゴルフ

第25回町長杯パークゴルフ大会がパークゴルフインチャロで開かれ、男子64人、女子38人が熱戦を繰り上げました。

参加者たちは声を掛け合いながらプレーするなど、交流を楽しみながらコースを回りました。競技の結果、男子は佐藤隆一さんが98打、女子は三橋百乃子さんが105打で優勝しました。



ギャラリーの視線が集まる第一打

日頃の学習の成果を

《2026年》
10/3

茶路小中学学習発表会

茶路小中学校（伊藤善一校長）で学習発表会が行われ、12人の児童生徒が日頃の学習の成果を保護者に披露しました。

歌や器楽演奏、劇、実験など、さまざまな演目を披露し、訪れた保護者から温かい拍手が送られました。最後は全校児童生徒で「大切なもの」と「あなたに会えて」を合唱し、発表会を締めくくりました。



実験教室で生卵とゆで卵の見分け方を説明する生徒

秋道こそ、思いやり運転

《2026年》
9/30

旗の波作戦

秋の全国交通安全運動期間に合わせて毎年実施している交通安全街頭啓発「旗の波作戦」が、恋問集会所入り口から坂の丘町内会まで約10キロの区間で行われました。

地域住民や児童生徒たち450人が参加し、「交通安全」と書かれた小旗を持ちながら道行くドライバーに「安全運転をお願いします」と呼びかけていました。



交通安全を呼び掛ける白糠学園の児童